

学習者の約6割が東アジアに集中、アジア・大洋州で約9割

2. 地域別の状況

■ 機関数・教師数・学習者数の地域別割合

世界を東アジア、東南アジア、南アジア、大洋州、北米、中南米、西欧、東欧、中東・アフリカの9つの地域に分け、機関数・教師数・学習者数の地域的分布を見ると、全機関の4割強、全教師の5割強、全学習者の約6割が東アジアに集まっている（⇒図3）。学習者数が東アジアに次いで多いのは東南アジア（14.8%）で、次に大洋州（13.4%）、北米（4.8%）が続く。アジアと大洋州で全学習者数の約9割を占めている。

図3 機関数、教師数、学習者数の地域別割合

